

## 第 4 回 中津川市公立病院地域協議会からの質問回答

Q1. 入院は無くなるとのことだが、一泊して点滴することは可能か？ また、一泊すると入院なのか？手術の無い軽微な症状で何とか入院できないか？

A1. 一般的に療養病棟は、長期にわたり療養を必要とする患者を入院させる病棟になりますので、急性期治療の点滴や検査のために入院することはできません。しかし、外来で数時間点滴することは可能です。

※入院の指示は、医師が療養上、必要と認める場合に行うものであり、単なる疲労回復や通院の不便等のための入院はできません。

Q2. 坂下病院の老人保健施設で具合が悪くなったら、診察（入院）は市民病院への搬送となってしまうのか？

A2. 老人保健施設で具合が悪くなったら、老人保健施設の担当医または病院の医師が責任を持って対応します。肺炎や尿路感染症などの治療は、老人保健施設で実施できます。また、症例にもよりますが、坂下病院の療養病床でも対応できますので、全て方が市民病院に搬送されるわけではありません。

老人保健施設や療養病床で対応が出来ない症例の場合は、市民病院などの病院に受診し医師の判断で入院・外来診療となります。

Q3. 同じ公立病院なので坂下分院の病棟という形で何とか入院できないか。

A3. 坂下病院に一般病床を残すことは困難です。市長方針の前提には、中津川市の今後の医療を考えたとき、8万人の都市で2つの公立病院を現状のまま存続していくことは極めて困難であり、2つの病院の機能を抜本的に見直していく必要があると判断されています。急性期・回復期の入院機能（一般病床）を市民病院に集約することは、今回の方針の要となっており、坂下病院には、慢性期の入院機能である療養病床を残し、役割分担を明確にした内容になっています。

Q4. 2病院の現状スタッフと医事事務員が何人いて、何人が余剰になるか？また、余剰が出たらどうするのですか？

A4.

【市民病院】2月現在の職員数（常勤の人数）は327人です。医療事務委託は87人です。

・今後、休床していた1病棟再開を考慮すると、更に看護師20人以上、看護助手数人が必要となります。

【坂下病院】2月現在の職員数は151人です。医療事務委託は36人です。

・今後、何人が余剰となるかは、今後の医師の確保等により異なります。

・余剰となった場合、病院職員のうち医療職などは2病院間で調整を行い、事務職は一般行政の定員管理のもとで調整されます。

・医事事務員は委託事業者が業務量に応じ調整します。

Q5. 南木曾町の方ともしっかりコミュニケーションをとるべき。南木曾町に対して将来緊急や入院が必要な場合どうなるかを明確にすべき。

A5. 南木曾町への説明に関しては、経緯や検討委員会の報告等を直接、出向いて説明させていただいております。

- ・市長方針が出た直後、直接出向き方針についての説明や南木曾町会議員との勉強会を開催(2/8)し、緊急や入院等についての質問回答をしております。
- ・南木曾町が行う行政報告会に向けて(2月上旬)の事前質問があり、文書にて回答しております。
- ・南木曾町へは、地域医療についての町の取り組みや今後の考え等を質問しております。

Q6. せっかく協議会をひらいているので、市から市民に対しての協力要望はないですか？

A6. 医師負担軽減の為、かぜ等の軽症と思われる場合は開業医などのかかりつけ医受診にご協力をお願いいたします。また、時間外、休日は当番医の受診をお願いいたします。(市民病院) 入院や受診の仕方の変更を理解をお願いします。(坂下病院)

Q7. 坂下病院(病床等)規模の青写真と 余った(病床等)施設をどうするかを教えてください。○ ○病床が○床とか。

A7. 平成31年度以降、坂下病院病床規模は、4階東病棟が療養病床50床となり、さらに3階西東病棟が老人保健施設80床という規模となります。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
市民病院	一般：233床	一般：233床	一般：233床	一般：233床	一般：233床
	地域：40床	地域：40床	地域：80床	地域：80床	地域：80床
坂下病院	一般：110床	一般：50床	一般：50床		
			老健：80床	老健：80床	老健：80床
	療養：50床	療養：50床	療養：50床	療養：50床	療養：50床

一般：一般病床 地域：地域包括ケア病床(回復期) 療養：療養病床

## Q8. 市長方針の収支損益を教えてください。

A8.

中津川市民病院

(単位 千円)

	平成 26 年度 実績	平成 27 年度 実績	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
経常収益	6,850,101	6,900,630	7,158,741	7,655,945	7,819,313	8,091,962	8,079,262
経常費用	6,899,955	6,811,751	7,142,104	7,644,592	7,662,530	7,687,464	7,595,382
経常損益	-49,853	88,879	16,637	11,353	156,784	404,497	483,880
経常収支比率	99.3%	101.3%	100.2%	100.1%	102.0%	105.3%	106.4%

資金増減額	-392,922	201,062	180,441	78,875	157,290	773,750	638,485
資金残高	118,800	319,862	500,303	579,178	736,468	1,510,218	2,148,702

坂下病院

(単位 千円)

	平成 26 年度 実績	平成 27 年度 実績	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
経常収益	2,767,457	2,714,559	2,526,949	2,561,234	1,935,735	1,706,216	1,702,017
経常費用	3,020,048	2,960,294	2,969,571	3,062,951	2,657,766	2,459,287	2,394,193
経常損益	-252,591	-245,736	-442,622	-501,717	-722,031	-753,071	-692,176
経常収支比率	91.6%	91.7%	85.1%	83.6%	72.8%	69.4%	71.1%

資金増減額	-155,678	-3,880	-6,662	-14,574	-546,967	-660,247	-593,526
資金残高	129,445	125,565	118,903	104,330	-442,638	-1,102,885	-1,696,411

両病院合算した収支

(単位 千円)

	平成 26 年度 実績	平成 27 年度 実績	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
経常収益	9,617,559	9,615,188	9,685,690	10,217,179	9,755,048	9,798,178	9,781,279
経常費用	9,920,003	9,772,045	10,111,675	10,707,543	10,320,295	10,146,752	9,989,575
経常損益	-302,444	-156,857	-425,985	-490,364	-565,247	-348,574	-208,296
経常収支比率	97.0%	98.4%	95.8%	95.4%	94.5%	96.6%	97.9%

資金増減額	-548,600	197,182	173,779	64,301	-389,677	113,503	44,959
資金残高	248,245	445,427	619,206	683,507	293,830	407,333	452,291

## Q9. 地域包括ケアとコミュニティーナースの違いを教えてください。

A9「地域包括ケア」とは、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、対象者を地域で支える仕組みであり、「コミュニティーナース」は、確立された制度ではありませんが、地域の中で住民とパートナーシップを形成しながら、看護師の専門性や知識を活かして、その一部分を担う医療人材になります。

Q10. 学校医委託 山口・川上小学校は坂下病院の医師が行っているのか？

A10. 行っていません。

Q11. 市民病院で救急車の受け入れが本当に行えるか？患者数が増えるが大丈夫か市民病院の姿を示して欲しい。

A11. 坂下病院が救急の制限を始めた 9 月以降の救急外来の患者数に関しては、以前と比べて差がありません。よって、注視はしていますが、十分対応可能と考えています。  
しかし、同着時などや重傷者優先などの対応についてはご理解をお願いいたします。

市民病院 地区別救急受付患者数（平成 28 年度）

地区	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月
中津川	269	325	287	313	319	302	323	266	327	322
阿木	12	18	14	15	18	11	12	23	19	16
坂本	113	134	102	123	118	113	136	122	144	141
落合	27	29	33	41	34	29	39	37	30	31
苗木	38	50	36	50	62	51	41	53	51	62
福岡	58	62	57	63	55	53	55	61	54	70
蛭川	19	24	32	21	28	31	26	26	23	27
付知町	39	37	20	28	40	41	33	43	20	34
加子母	11	10	7	17	4	6	5	5	4	8
坂下	8	15	13	14	18	30	32	21	32	22
川上	0	4	1	0	4	2	5	5	7	6
山口	9	4	7	13	7	17	10	7	4	10
神坂	6	8	7	11	5	9	7	6	6	4
恵那市	77	91	67	89	71	69	69	92	66	88
その他の岐阜県	8	12	11	14	10	13	11	8	16	15
南木曾町	14	11	6	9	13	25	25	29	29	26
大桑村	4	3	5	5	3	5	6	1	10	1
長野県(その他)	1	5	7	2	3	2	3	4	6	2
その他の県	29	38	37	35	68	40	43	24	40	32
総計	742	880	749	863	880	849	881	833	888	917
1 日あたり平均	24.7	28.4	25.0	27.8	28.4	28.3	28.4	27.8	28.6	29.6

Q12. 坂下病院の経営改善で、平成 29 年度の赤字状況はどうなるか。平成 29 年度決算したら 10 億円赤字は許されない。

A12. 平成 29 年度坂下病院の経営改善計画を実行した場合で、経常損益は▲501,717 千円、資金増減額は▲14,574 千円、資金残高は 104,330 千円という予測です。

Q13. 市長から長野県知事に坂下病院の赤字分を負担してもらおうようお願いする動きはできないか。

A13.行政区が違いますし、公立病院の赤字を県が負担するような制度はありません。しかしながら、国や県に対しては、あらゆる機会を通じて、地域医療体制の整備、医師不足地域の人材確保対策、財政支援等を要望してまいります。

Q14. 坂下病院で、初診料等を徴収できる仕組みは考えられないか。

A14.初診料を算定する初診に相当する療養部分についてその費用を徴収できるのは、200床以上の病院であるため、坂下病院では徴収できない仕組みとなっております。文書料等の自費分は病院長の定める額の変更により、値上げが可能です。

Q15. 市民病院の医師の対応が悪い。患者の気持ちや立場に向き合える医師の確保をお願いしたい。

A15.医師の接遇については上級医、指導医に加え、病院長からも定期的に教育を行っているところです。患者さまの気持ち・立場に向き合える医師の育成や確保に努めてまいります。

Q16. 坂下病院の経営改善計画の作成とは。

A.現在、作成中です。次回の委員会にお示しいたします。